

精神保健ソーシャルワーク演習Ⅲ評価ルーブリック

評価項目	観点	A (23点)	B (21点)	C (16点)	D (1つでもあてはまれば不合格)
精神保健ソーシャルワーク実習を踏まえ、精神障害のある人々への差別や偏見を除去し共生社会を実現するための活動を精神保健福祉士の役割として認識し、政策や制度、関係行政や地域住民にはたらきかける方法をイメージできるようになる。(D)	精神障害のある人々への差別や偏見を除去し共生社会を実現するための活動を精神保健福祉士の役割として認識できているか。	精神障害のある人々への差別や偏見を除去し共生社会を実現するための活動を精神保健福祉士の役割として十分に認識できている。	精神障害のある人々への差別や偏見を除去し共生社会を実現するための活動を精神保健福祉士の役割として一部に問題はあるものの、ほとんど認識できている。	精神障害のある人々への差別や偏見を除去し共生社会を実現するための活動を精神保健福祉士の役割としてほとんどの部分で認識できていない。	精神障害のある人々への差別や偏見を除去し共生社会を実現するための活動を精神保健福祉士の役割として全く認識できていない。
	上記の認識に基づき、政策や制度、関係行政や地域住民にはたらきかける方法をイメージできているか。	身につけた認識に基づき、政策や制度、関係行政や地域住民にはたらきかける方法を十分にイメージできている。	身につけた認識に基づき、政策や制度、関係行政や地域住民にはたらきかける方法を一部に問題はあるものの、ほとんどイメージできている。	身につけた認識に基づき、政策や制度、関係行政や地域住民にはたらきかける方法をほとんどの部分でイメージできていない。	身につけた認識に基づき、政策や制度、関係行政や地域住民にはたらきかける方法を全くイメージできていない。
精神保健ソーシャルワーク実習を踏まえ、精神保健福祉士として考え、行動するための基盤を獲得し、職業アイデンティティを構築する意義を理解できるようになる。(D)	精神保健福祉士として考え、行動するための基盤を獲得できているか。	精神保健福祉士として考え、行動するための基盤を十分に獲得できている。	精神保健福祉士として考え、行動するための基盤を一部に問題はあるものの、ほとんど獲得できている。	精神保健福祉士として考え、行動するための基盤をほとんどの部分で獲得できていない。	精神保健福祉士として考え、行動するための基盤を全く獲得できていない。
	上記の考えと行動するための基盤を獲得した上で、職業アイデンティティを構築する意義を理解できているか。	身につけた考えと行動するための基盤に基づき、職業アイデンティティを構築する意義を十分に理解できている。	身につけた考えと行動するための基盤に基づき、職業アイデンティティを構築する意義を一部に問題はあるものの、ほとんど理解できている。	身につけた考えと行動するための基盤に基づき、職業アイデンティティを構築する意義をほとんどの部分で理解できていない。	身につけた考えと行動するための基盤に基づき、職業アイデンティティを構築する意義を全く理解できていない。